

でんきが築く豊かな未来

美里町立小牛田小学校五年

木村

未来

私は、厚紙や段ボール、使い終わったペツトボトルなどを使って車や船などの工作をしたり、色鉛筆やペンでアニメのモンスターや動物、恐竜などの絵を描くことが好きです。しかし、立体的な工作をするのは切り貼りが大変だったり、絵もバランスよく上手に描くことが難しく、思った通りにできないことがよくあります。

休みの日に家族で、イベントなどに出かけたとき、3Dプリンターでとても上手に作られた模型が展示されていたり、プロジェクトシ
ンマツピングで幻想的な映像が映し出されたりしているのを見ました。また、テレビ番組やCMなどでもよく見ます。最新のコンピユーターの技術が使われていて、すごいなと思います。作ってみたいのですが、小学生の私には、コンピユーターの使い方や作り方がどうなっているのか全然わからないので、

き、とその装置を使いこなすことはできない
と思います。

そこで、3Dプリンターなどの装置を使い
こなせる人たちだけではなく、誰でも簡単に
使える装置を作ってほしいです。頭で考えた
イメージを、でんきのかで読み取ってコンピ
ューターが形にしてくれるような装置です。

そうなれば、立体的なデザインの模型や絵、
映像などが短い時間で簡単に作れるようにな
ると思います。私は、かっこいい車やモンス

ターをたくさん作ってみたいです。また、エ
作や絵を描くことが好きな人だけではなく、
世界中のいろいろな人たちが考えているたく
さんのイメージを、その装置で読み取って形
にすることができるようになったら、今まで
になかったものや素晴らしいものが作られる
と思います。そして、さらに技術が進歩した
夢のある豊かな未来になってほしいです。